

会議録（１）

会議の名称	平成30年度第3回図書館協議会
開催日時	平成31年3月13日（水） 開会 午前10時00分 閉会 午前10時53分
開催場所	飯能市立図書館 多目的ホールB
議長氏名	小見山 久実子 委員長
出席委員	小見山 久実子 新井 健 策 臼井 貴子 富山 真紀 頓所 裕子 村野 みどり
欠席委員	大河原 英樹 岡部 暢子 都築 悦子 村越 一哲
説明者の職氏名	図書館長 柳戸 信吾 図書館主査 竹井 順子 図書館主査 勝山 健一 名栗分室長 熊澤 志津代
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	同上

会議録（3）

午前10時00分開会

- 司会（勝山） 定刻となりましたので平成30年度第3回飯能市図書館協議会を始めさせていただきます。
欠席は大河原委員、岡部委員、都築委員、村越委員の4名ですので、飯能市図書館条例第12条第2項によりまして、出席委員が過半数に達しておりますので、飯能市図書館協議会を開会いたします。
なお、本日の協議会は公開としますが、傍聴者はありません。
それでは、開会にあたりまして、柳戸館長からごあいさつを申し上げます。
- 館長 （館長あいさつ）
- 司会 続きまして、小見山委員長からごあいさつをお願いいたします。
- 委員長 （委員長あいさつ）
- 司会 ありがとうございます。それでは、3の協議に入ります。規則にしたがいまして、委員長に議長とさせていただきます。
小見山委員長、議事進行をよろしくお願いいたします。
- 委員長 それでは、委員の皆様のご協力をお願いいたします。
協議事項に入ります。
（1）平成31年度図書館運営方針（案）について説明をお願いします。
- 館長 （資料1に基づき説明）
- 委員長 平成31年度図書館運営方針（案）について質疑はありますか。
- 委員 図書整理員の立場から一番気になっているのですが、奥武蔵小学校の図書室自体があまり広いものではありませんし、現在の西川小学校図書室にある3千から4千冊の本だけでいっぱい状況なのですが、これにさらに地域に向けての一般書を置くことができるのかどうか気になります。
また、専任の職員を常駐させるということですが、富士見分室のような形なのか、それとも名栗分室のような形を考えているのか、今わかっている範囲でかまいませんので教えてください。

館長

現時点では学校教育課との調整がほとんど進んでいない段階で、まずは学校を開校してから細かいことを決めていこうという状況です。

ただ、図書館の考えとしましては、児童用と一般用というように分けて開放するにはたしかに狭いのですが、これにつきましては書架を2台追加するというを考えております。スペース的に狭いという部分もありますが、うまく調整しながら進めていきたいと思っております。

学校図書館を使って地域の人と児童とが触れ合うようなイメージが作ればいかと考えております。学校図書館としての機能を優先するというのが第一ですので、今も図書整理員の方々が一生懸命やっただいておりますが、時間が限られて十分にできない部分を常勤の方を配置する形でカバーできればと考えております。

富士見分室のような形か名栗分室のような形かということにつきましては、これはわたくし個人の考えですが、授業などに職員が積極的に出て行ったり、あるいは図書館に児童が来た時に読み聞かせをしたり、自由に本を選んだり、そのような形で学校が使っていいただければと考えております。ただそこに職員がいるというだけではなく、司書としての技量を発揮して、子どもと接し、その結果、子どものときから本に親しむという形が取れば理想的かと考えております。

奥武蔵小学校の「売り」の一つとして学校図書館が充実した小学校ということを示すことができると考えています。

委員

市の方針として奥武蔵小学校に対して重点的に予算を組んでやっていこうということは理解しておりますが、加治地区のような市内で子どもが増えている地区では、学童保育も狭いところに押し込められているような酷い状況です。そういう状況を見ると予算の配分に対していかなものかと、市民としては思うところがあります。

その中で奥武蔵小学校の図書館に職員が常駐することについて、果たして何人のお子さんが通うことになるのか、また、市の学校図書館司書の現状についてお伺いします。

主査

学校図書館司書の関係につきましては、各学校に図書主任が1人ずつおられるかと思えます。

委員

図書主任はいらっしゃいます。しかし、実際に図書の整理や、発注するところまでは手が回らない先生が多いので、図書整理員がかなり力になっていると思えます。

学校によっては図書整理員がいる時間に限って図書館を利用する時間として、読み聞かせや本の貸出しを行っているところもあります。図書主任が学校図書館にどれだけ関わっているかについては何とも言いえない状態です。

図書整理員は司書の資格を持っていなくてもなれますので、資格を持っている方、持っていない方がおられます。学校によっても図書館を積

極的に利用する学校もあれば、ほとんど利用のない学校もあります。

委員

学校では司書教諭を図書主任としていますが、やはり図書整理員の方のお力添えが大きいかと思います。しかし、図書整理員の方の勤務時間が限られていることもあって連携がうまく取れていないと思います。

また、図書館の利用という面では担任の意識の問題も大きいと思います。調べ学習で図書館を積極的に利用する学年・クラスもありますし、そうでないクラスもあります。

委員

私見になりますが、学校の先生方もこの科目のこういう課題で勉強したから、それに関する本を読ませたいというときに、そこで取り揃えてくださる方がいると利用しやすいと思います。それだけの本を一人一人に合わせて揃えるのは時間もかかりますし、授業は毎日毎日進んでいきますので間に合わない。ですから、「この時期はこれ」といった形で用意してもらえると助かると思います。

図書主任や図書整理員にそこまで要求していいのかわかりませんが、そういったことができれば図書館の利用も増えますし、図書館が学習の場として利用されていくと思います。けれど、実際には個人任せのような状況になっていて、発展性がないように感じています。

奥武蔵小学校に限らず、図書館には市全体の学校図書館が充実するような働きかけをしていただければと思います。

館長

まず、奥武蔵小学校の児童の推定数ですが、平成31年で73人ということで、平均すると各学年10人ちょっとといったことになります。

先ほどの予算についてのご意見ですが、奥武蔵小学校に予算を投入するのであれば、第一小学校や加治小学校、富士見小学校のような大きな学校もありますので、そちらに予算を回せるのではないかというのは、確かにおっしゃる通りだと思います。ただ、今までの状況ですと学校図書館を充実するといった場合に、図書整理員を増やすとか、あるいは専任職員をつけるとか、そういった動きが見られません。

これに対して飯能市の場合は、図書整理員の関係は学校図書館ということで学校教育課が管轄しており、社会教育の図書館はそれに関わることが難しい状況です。

この状況が続けていてはいつまで経っても学校図書館の充実はできないだろうと考えまして、奥武蔵小学校の話が出た際に図書館で提言しましたのが、今回の地域開放とあわせて専従の職員を1人つけるということです。このようなやり方で、先ほどおっしゃられた教材研究に図書館の人間が関わる、あるいは子どもたちに本を紹介できるという形が取れ、これを他の小学校でもやってみようということになればと考えております。

今回はモデルケースという形でやってみて、これだけいい成果があるんだということがわかると、市のほうとしても「読書が大事だ」と言っ

ておりますので、その方向に持っていけるのではないかと考えています。

委員 庁内組織との連携ということも掲げられていますので、学校教育課に働きかけて、できるだけ早く進めていただければと思います。

委員長 他に質疑はございますか。
平成31年度図書館運営方針は案のとおり了承していただいてよろしいですか。

それでは原案のとおり了承するものとします。

続いて次の協議に移らせていただきます。

(2) 平成30年度図書館評価指標について説明をお願いします。

館長 (資料2に基づき説明)

委員長 平成30年度図書館評価指標について質疑はありますか。

委員 レファレンス受付件数についてお伺いします。

受付件数に目標を掲げていますが、レファレンスはお客様から質問がなければ件数が増えるものではないと思います。目標を達成するためにただ質問を待っているだけではなく、何かしているのでしょうか。

館長 おっしゃるとおり、レファレンスはお客様が来ないと数字が上がっていきません。レファレンスカウンターに座っているだけでは質問がしづらいということもありますので、カウンターの前を通るお客様に気持ちよく声がけするというようなことで、数字が上がっている部分があります。

委員 レファレンスカウンターについてはどれくらいの方がご存知なのでしょう。例えば図書館に入ったときに「質問はこちら」というような案内は掲示していますか。

館長 現在のところ案内の掲示はしていません。

委員 そのような掲示をすとか、質問週間のようなものを設けて広報に載せてもいいのではないのでしょうか。待っているだけではいつまで経ってもお客さんは来ないと思います。また、どれだけの利用者がレファレンスというものを認知しているかということも疑問に感じます。

もし、数値目標を掲げて達成をしたいと思うのであれば、それだけの手段を考えるべきかと思います。

館長 今後、検討していきます。

- 委員長 他に質疑はございますか。
- 委員 図書を借りていて疑問に思うのですが、シリーズものが一つの場所がないということがあります。初めのシリーズは本館にあるのに、第2シリーズは富士見分室にあったりとか、他市の図書館にあたりとか、県の図書館にあたりとかで、続けて読みたいのにない。また、書棚を見ただけではわからず、探すのが大変です。
全員がパソコンやネットで探すことができるわけではありませんし、子どもたちも探すことを面倒に感じたら続きを読むのをやめてしまうと思います。
もし、飯能市内にあるのであれば1巻目は本館にある、2巻目はどこにあるというように書いておいていただくと非常に助かります。
- 主査 最近シリーズものが確かに多く、人気があるものは書棚に置ききれないということもありますが、図書館としては可能な限り同じ場所に置こうと思っております。古いものについては書庫に入ってしまうということは確かにございます。
本に案内をつけたり、利用者の方にわかりやすいような方法を考えていきたいと思っております。
- 委員長 他に質疑はございますか。
- 委員 昨年の協議会で配本所を考えて行きましょうという話がありましたが、そちらのほうはどうなっているのでしょうか。
- 主査 配本所につきましては数年来の課題になっております。パソコン等で管理することができず、本を設置してご自由に持って行っていただくという方式を取っていることもあり、なかなか新刊を置くということができない状況です。その結果、利用者の方もいつ行っても同じような本が置いてあるということで利用も伸びず、悪循環になっている部分があるかと思っております。
ただ、飯能市は図書館分館が少なく、地域が広いということもありますので、図書館から離れた地域の方にどのようなサービスをしていくのかということが大きな課題でもあります。先ほどお話にもありました奥武蔵小学校の図書館を地域解放するとか、移動図書館車をどのように運用していくのかということも絡めまして、引き続き検討しているところでございます。
- 委員長 他に質疑はございますか。
- 副委員長 平成31年度図書館運営方針(案)の重点目標についてですが、資料の充実ということが挙げられていますが、専門職の方々が利用するにあ

たり、専門書があることによって利用客が増えるということにつながると思います。

また、地域の魅力発信ということですが、メッツァがここで3月16日に有料ゾーンがオープンするということですが、それはそれとして、飯能市にも魅力的なことがいっぱいございます。その辺も併せてPRしていただければと思います。

主 査 最初にお話しいただきました専門書の関係ですが、やはり図書館職員だけでは専門的な分野が弱い部分がございます、例えば認知症に関する本は専門の介護福祉課や地域福祉課の方に意見を聞きながら資料を集めたりしております。

委員 長 他に質疑はございますか。

委 員 天覧山と飯能河原の散策マップをこれから作るというお話がありましたが、それを見るとそこに関しての資料とか本にたどり着けるような形になるのでしょうか。

主 査 子ども向けに作りましたものです。とくに夏休みになると地域のことを調べようということで、小学生が図書館に調べものに来るのですが、郷土のことになりますと、子どもが読める本というものが非常に少なく、本当に限られてしまいます。そのため、資料を具体的に提示することか難しい状況でした。

そこで博物館と連携を図って、子どもたちが天覧山や飯能河原に行つて、こういった動物たちがこの辺りにいるよというようなことをマップを見ながら散策ができて、散策が終わった後に裏面にはこども図書館に所蔵がある関連図書が紹介してあります。より詳しく知りたい人は職員に声をかけてねとか、OPACという図書館の中で自分で調べる機械もあるよ、という紹介をしたA3判の両面印刷のものになっています。

委 員 名栗川少年記なども飯能の子どもであれば絶対に読んでおいてほしいと思うのですが、あまりそういうものが紹介されていない気がします。

また、例えば観音寺に行くと寄贈された石の跡がありますよ、といったような、実際の史実と伝説的なものが関連しているものがあります。この前、学校教育課のほうで冊子を作られましたし、飯能の郷土を調べるためのものというのが出てきています。そういうマップの中に実際にこういう所に行くと昔話にたどり着いていけるというような、そういうものがあるとより飯能の歴史を知る上での資料になるのではないかと思います。これからもマップ作りを続けていただければと思います。

館 長 ありがとうございます。飯能市独自の魅力の発信を図書館としてもこ

委員 長

れからも続けていきたいと思ひます。

他に質疑はござひますか。

他に質疑、ご意見が無ければ以上で終了いたします。

午前10時53分閉会

議事の内容・末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。

平成 年 月 日

議 長 _____